

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年7月8日 (2010.7.8)

【公表番号】特表2010-518677(P2010-518677A)

【公表日】平成22年5月27日 (2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-548161(P2009-548161)

【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月26日 (2010.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伝送パーティで参照信号シーケンスを伝送する方法において、
単一または多重のリソースブロックの大きさに該当する多様な長さを有する単一または
多重の基本シーケンスを取得し、
参照信号シーケンスを生成するために 1 つ又は複数の基本シーケンスに多様な循環移動
値に該当する循環移動を適用し、
前記参照信号シーケンスを受信パーティに伝送し、
前記基本シーケンスは複数のシーケンスグループに分割された複数の基本シーケンス
の中から取得され、

前記それぞれのシーケンスグループは、前記それぞれの長さに対して少なくとも一つ以上のシーケンスを含むことを特徴とする参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 2】

前記リソースブロックサイズは周波数ドメインにおいて 1 2 個のサブキャリアのサイズ
に相当する、請求項 1 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 3】

1 つ又は複数の前記基本シーケンスは、該当する参照信号シーケンスの大きさより小さい
最大素数によって与えられた長さ (N_{zc}^{RS}) を有する ZC シーケンスの循環拡張によっ
て取得される、請求項 1 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 4】

1 つ又は複数の前記基本シーケンスは、該当する参照信号シーケンスの大きさより大きい
最小素数によって与えられた長さ (N_{zc}^{RS}) を有する ZC シーケンス切断によって取得
される、請求項 1 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 5】

前記シーケンスグループの個数は 30 である、請求項 1 に記載の参照信号シーケンス伝
送方法。

【請求項 6】

前記それぞれのシーケンスグループは、前記リソースブロックの大きさの 1 倍乃至 5 倍

の長さに該当するシーケンスで各長さごとに 1 個の基本シーケンスを含み、前記リソースブロックの大きさの 6 倍以上の長さに該当するシーケンスで各長さごとに 2 個の基本シーケンスを含む、請求項 5 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 7】

前記リソースブロックの大きさの 3 倍以上に該当する長さを有する前記基本シーケンスは、特定の ZC シーケンスインデックス (q) の Z a d o f f C h u (Z C) シーケンスを用いて取得され、前記リソースブロックの大きさの 1 倍または 2 倍に該当する長さを有する前記基本シーケンスは、前記 ZC シーケンスと異なるシーケンスを用いて取得される、請求項 6 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 8】

前記特定の ZC シーケンスインデックス (q) は、グループインデックス (u) の関数で、前記グループ内の基本シーケンスナンバーインデックス (v) である、請求項 7 に記載の参照信号シーケンス伝送方法。